

文化祭31HR模擬店「イケ麺冥途喫茶」企画書

テ ー マ	食事ができるだけでなく、目で楽しむことができる店
日 時	○○○○年○月○日 ○時～○時
会 場	会議室
人 員	(準備) 調理 数名 会場準備 数名 (当日) 受付 2名 案内 2名 会場整理 2名 調理 3名×2 1時間ごと交代する
目 的	食事やパフォーマンスが楽しめる空間を作る。 付加価値をつけて利益を増やす。
ターゲット	学校に来ている人（主に高校生）
内 容	ビジネス研究部プロデュースのダンスチームと連携して、食事やパフォーマンスが楽しめる空間を作る。世界観は冥途。閻魔大王、鬼、天使が登場する。 ラーメンを提供する。ラーメンはお湯をかけてできる少量のもの。2玉に増やすこともできる。トッピングにはメンマを提供し、トッピングを注文すると鬼たちがパフォーマンスをする。メンマは、長嶋先生の知人の山のタケノコをもらって作る。後日、山の清掃を手伝ってお礼をする。 パンケーキを提供する。オプションで、赤いシロップがけられるようにし、シロップがプレートで蒸発したときに、鬼たちの悲鳴を付加する。悲鳴を付加するかしないかは、選択できるようにする。蒸発する音、甘い香り、蒸発した後の味なども楽しめるようになる。 お茶、ジュースを提供する。血の池から目玉の形をしたボールをとり、お茶やジュースを選んでもらう。普通目玉、当たり目玉、大当たり目玉を用意し、目玉の種類によって、お茶やジュースの選択肢が増える。大当たり目玉が出ると、福引きで当たった時などに使うベルを鳴らし、鬼たちがパフォーマンスをする。